

## 晩秋そば談義

— 透析休憩室の窓辺にて —

杉野信博

秋も終りに近づくと家の近くのそば屋に「新そば」の看板が出る。そば好きの小生は時々行って頬張って来る。小生のは所謂そば通ではなく我流嗜好型の昔風そば好みである。

透析科の朝、夕組の間の中休みに透析室の裏の休憩室で二、三のナース、テクニシャンとお茶を飲みながらそば談義をした。若い彼らの評判は太めでかたく、汁は濃く辛いのだが、当方は細めで適度なかさ、汁は淡白だが香りが良いのが好きだ。だから彼等が推すそば屋には興味がない。

落語に「そば清」と言うのがある。そば好きの清さんが荷物を背負って峠を越えて里に向う途中、疲れたので大木の脇に荷を下し一服していた。するとやや遠くの方の方に旅人らしい男が草の上に坐って居眠りしていた。煙を吹き乍ら眺めていると何やら黒い物が旅人の近くに降りてきた。うわばみらしい。あっという間に男を呑んでしまった。「さあ大変だ」と思っていたらうわばみの腹の辺がばんばんに膨れ流石のうわばみも苦しそうに見えた。するとゆっくり草の中に入って行き黄色い草をむしゃむしゃ食べている。目を開いてよく眺めるとうわばみの大きな腹がみるみる小さくなって行く。やがて元に戻ったのかまた大木の枝に昇って行った。旅人の男は消滅してしまった。これを

見ていた清さんは興味を持ったので黄色い草を少々抜いて持ち帰った。その後清さんに異変が起こった。

或る日仲間とそば屋に行きそば食い争いの賭をした。清さんが勝ち三両を獲得した。併し太鼓腹になったので例の草を思い出し三人の友人に、

「一寸手洗に行ってくるから待っててな」と言っ外に出た。懐から出した紙包みの中の黄色い草を半分許り食べた。

なかなか清さんが戻って来ないので三人が戸を開けて廊下に出て驚いた。床の上にそばが羽織を着て置いてある。黄色い草は人間だけを溶かすのであった。

という噺だ。

若し小生が「わんこそば」あたりで食べ過ぎて清さんみたいに黄色い草を食べたらそばが白衣とその上に聴診器でも載っているのでしょうかね。

(了)

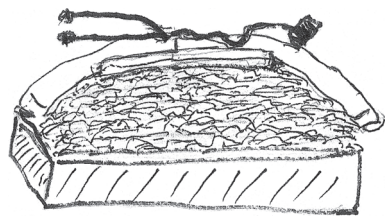


図 わんこそばの上の白衣と聴診器

## お 知 ら せ



### 平成 28 年度 透析療法従事職員研修のお知らせ

この研修は、透析療法に携わる方々を対象に、透析療法に関する研修を行い、腎不全医療の質の向上を目的としています。

平成 27 年度は、日本全国から 1,412 名の方々が受講され、現在まで延べ 41,115 名の方々が受けられています。

透析医療の第一線で活躍する講師陣による、現場に即したわかりやすい講義は、毎回参加者から大変好評を得ています。

1. 対 象 者：透析療法または CKD（慢性腎臓病）診療に携わる医師・看護師（准看護師を含む）・臨床工学技士・臨床検査技師・衛生検査技師・管理栄養士・栄養士・薬剤師
2. 講 義：日時 平成 28 年 7 月 16 日（土）・17 日（日）  
場所 大宮ソニックシティ 大ホール他（埼玉県さいたま市）
3. 実 習：講義終了後、平成 28 年 12 月末日までに全国 185 の実習指定施設において所定のカリキュラムを行います。  
（対象者：医師・看護師（准看護師を含む）・臨床工学技士）
4. 受講費用：A. 講義のみ 22,000 円（税込）  
B. 講義+実習 22,000 円（税込）+実習料（※注）  
実習生が実習指定施設（実施要領に記載）に所属している場合  
C. 講義+実習+見学実習 22,000 円（税込）+見学実習料（※注）  
※注 実習料・見学実習料は、講義受講後、実習または見学実習に際して、各実習指定施設へ直接お支払いいただきます。
5. 修 了 証：講義と実習（または見学実習）を修了した実習者には、修了証書を発行します。
6. 申込方法：平成 28 年 3 月 1 日付にて、主な透析医療施設長宛に発送する「実施要領」をご参照のうえ、研修申込書にて（公財）日本腎臓財団宛にお申込み下さい。  
（当財団 HP よりインターネットにて申込み、アップロードは平成 28 年 3 月上旬予定）
7. 申込締切：平成 28 年 5 月 6 日（金）
8. 後 援：厚生労働省（予定）
9. 問合せ先：（公財）日本腎臓財団 研修担当  
〒112-0004 東京都文京区後楽 2-1-11  
TEL 03-3815-2989 FAX 03-3815-4988  
URL <http://www.jinzouzaidan.or.jp/>